世界メディカル関連株式オープン〈愛称:医療革新〉

追加型投信／内外／株式

NISA対象

ファンドは、NISAの成長投資枠の対象です。
※販売会社により取扱いが異なる場合があります。くわしくは、販売会社にご確認ください。

ご購入の際は、必ず投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

販売用資料 2025.05

▌投資信託説明書（交付目論見書）のご請求・お申込みは

三井住友信託銀行

三井住友信託銀行株式会社
登録金融機関　関東財務局長（登金）第649号
加入協会：日本証券業協会／一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人金融先物取引業協会

▌設定・運用は

三菱UFJアセットマネジメント

三菱UFJアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第404号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

グローバルで拡大を続ける医療関連業界

今後、先進国の高齢化の進展や新興国の所得増加、
バイオ医薬品の発展などにより
医療関連業界は成長が見込まれ、
いま、長期的な投資対象としての
魅力が高まっています。

医療関連

1 先進国の高齢化

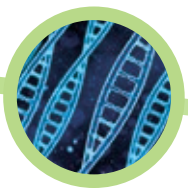
テクノロジーの発展と医薬・医療への応用

～1960年代
レントゲン
（1895年、X線の発見）

1970年代
ペースメーカー

1980年代
MRI

1990年代
カテーテル



2000年代
ヒトゲノム計画完了
（2003年）

・写真はイメージです。
・上記は、将来の運用成果等を保証するものではありません。

主な医療関連産業

製薬
大衆医薬品、医療機関向け医薬品の製造・開発企業 等

バイオテクノロジー
遺伝子の分析・研究を基に治療薬等の製品を製造・開発する企業 等

医療製品
医療機器の製造・開発企業 等

医療・健康サービス
病院経営、医療品卸、医療保険企業 等

業界の 3つの成長ポイント

2 新興国の所得増加

3 バイオ医薬品の発展

次世代の医療へ

2010年代
iPS細胞
ノーベル賞受賞
（2012年）

［人工知能（AI）］

［ビッグデータ解析］

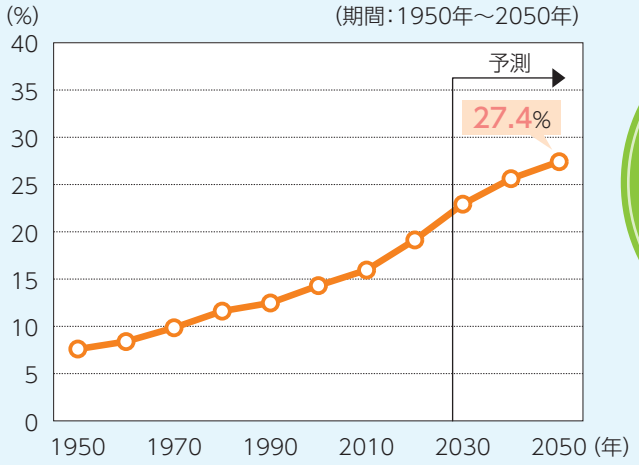
［遺伝子治療］

1. 先進国の高齢化

先進国では
医学・医療の進歩等により
高齢化が進んでいます。

先進国の65歳以上の割合

先進国では高齢化が
一段と進展し、
2040年には
4人に1人が65歳以上
となる見込みです。

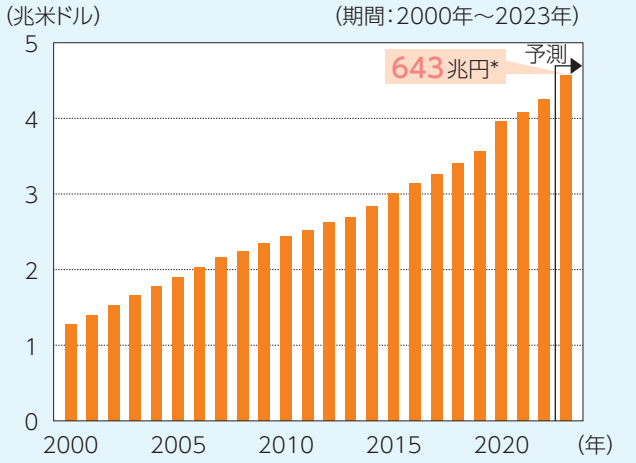


※上記は国連による推計値です。なお、先進国は国連の定義によります。
(出所)国連のデータ(2024年時点)を基に三菱UFJアセットマネジメント作成

高齢人口の増加

アメリカの年間医療支出

先進国であるアメリカの
年間医療支出は、
右肩上がりで増えており、
2023年には
2000年の約3.6倍となる
4.6兆米ドル(643兆円*)に
なったと見込まれます。



*2023年12月末現在の為替レート(1米ドル=141.04円)で換算しています。
※表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。
(出所)OECD、Bloombergのデータを基に三菱UFJアセットマネジメント作成

医療費

・写真はイメージです。
・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

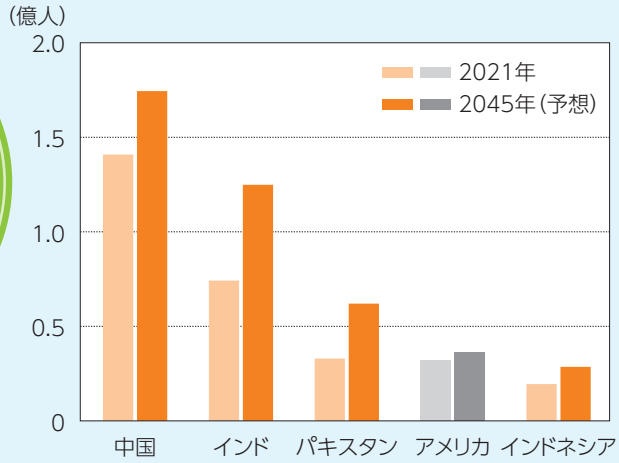
2.新興国の所得増加

新興国では
人口増加による経済成長が
引き続き期待されます。

経済成長にともなう
所得の増加
生活スタイルの変化

の拡大

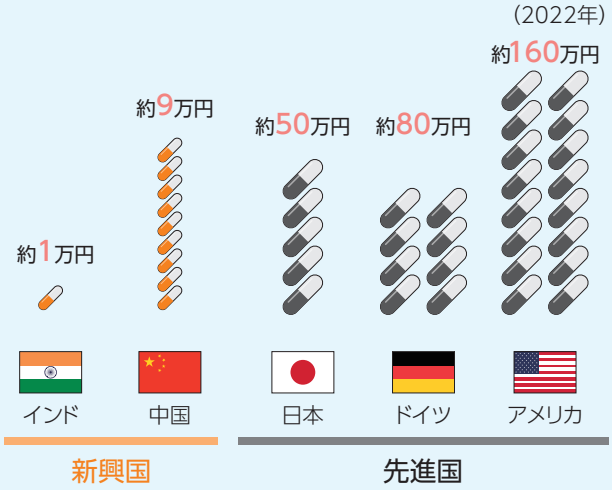
糖尿病患者数 上位5ヵ国



新興国では経済成長に
ともなう所得の増加により、
食事などの生活スタイルが
変化したことで、
生活習慣病のリスクが
増大しています。

(出所)国際糖尿病連合(IDF)のデータ(2021年時点)を基に三菱UFJアセットマネジメント作成

1人あたりの年間医療支出



現在、新興国の1人あたりの
年間医療支出は、先進国に
比べると少ないですが、
所得増加等に伴い、
今後先進国に近づくことが
予想されます。

※2022年12月末現在の為替レート(1米ドル=131.12円)で換算しています。

(出所)世界保健機関(WHO)、Bloombergのデータを基に三菱UFJアセットマネジメント作成

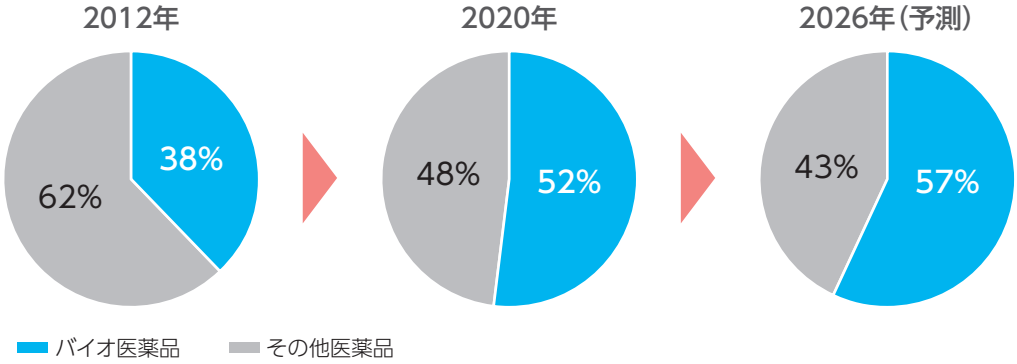
3.バイオ医薬品の発展

▶バイオ医薬品は、従来の医薬品では治療が困難であるとされた病気への効果や副作用の低減が期待されます。

▶バイオ医薬品の売上高は年々増加しており、今後も難治療分野への展開が見込まれることから、更なる増加が予想されています。

一般医薬品とバイオ医薬品の違い

世界の医薬品売上高上位100におけるバイオ医薬品の割合



（出所）EvaluatePharmaの資料を基に三菱UFJアセットマネジメント作成

【ご参考】革新的な医薬品例

免疫チェックポイント阻害薬

免疫のブレーキがかかるのを防ぐ治療薬

免疫細胞上の「PD-1」というたんぱく質と、がん細胞上の「PD-L1」というたんぱく質が結合することで免疫細胞にブレーキがかかり、がん細胞を攻撃することができなくなります。免疫チェックポイント阻害薬の1つである「オプジーボ」の場合、「PD-1」に結合してブレーキをかける信号を遮断することで、がん細胞を免疫細胞が攻撃できるようにします。

CAR-T細胞療法

免疫細胞（T細胞）の遺伝子を改変する治療薬

T細胞を患者自身から取り出して「CAR」と呼ばれる特殊なたんぱく質を作り出すことができるようT細胞を改変します（改変されたT細胞を「CAR-T細胞」と呼びます）。「CAR」は、がん細胞などの表面に発現する特定の目印を認識・攻撃するように設計されており、このCAR-T細胞を患者に投与することで、難治性のがんを治療するのがCAR-T細胞療法です。

※上記は各治療薬の仕組みについて簡易的に記載したものであり、正確性や完全性を保証するものではありません。また、同様の仕組みの治療薬であっても、標的となるたんぱく質等が異なる場合があります。

（出所）各種資料を基に三菱UFJアセットマネジメント作成

・画像はイメージです。
・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

医療関連業界の3つの成長ポイント

1先進国の高齢化　2新興国の所得増加　3バイオ医薬品の発展

×

テクノロジーの進化による医療関連業界の革新

AI、ビッグデータ、IoT（モノのインターネット化）などテクノロジーの進化は、医療関連業界に大きな変化をもたらしています。

医療関連業界においてテクノロジーの進化がもたらす事例

創薬
- AIやビッグデータの活用による創薬にかかる期間の短縮化
- 遺伝子解析装置の進化によるコストダウン

手術
- 難易度の高い手術を補助する手術支援ロボット
- IoTにより各種医療機器を連携させて手術の精度と安全性を向上させるスマート治療室

遠隔診療
- 新型コロナウイルスの感染拡大の影響により普及が進んだオンライン診療
- 5Gを使った手術支援ロボットの遠隔操作

医療機器
- AIによるCT検査やMRI検査などの画像診断支援
- スマートフォンのアプリによる血糖値や不整脈のモニタリング

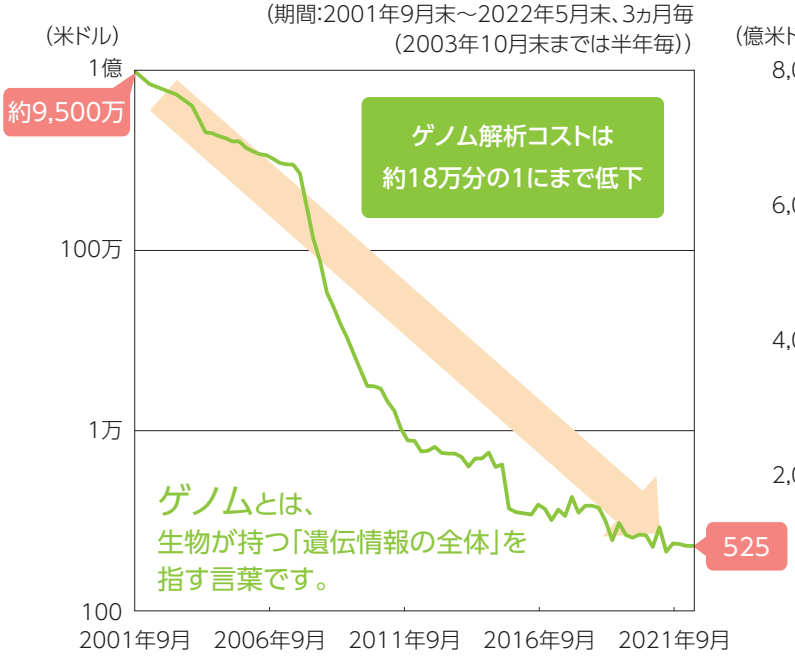
※上記はテクノロジーの進化により実現、または実現が期待されているものの一例であり、すべてを網羅しているものではありません。

（出所）各種資料を基に三菱UFJアセットマネジメント作成

ゲノム解析コストの推移

遺伝情報を表す塩基配列を高速で読み取る次世代シーケンサーの登場により、ヒト1人当たりのゲノム解析コストは劇的に低下しました。

（期間:2001年9月末～2022年5月末、3ヵ月毎（2003年10月末までは半年毎））

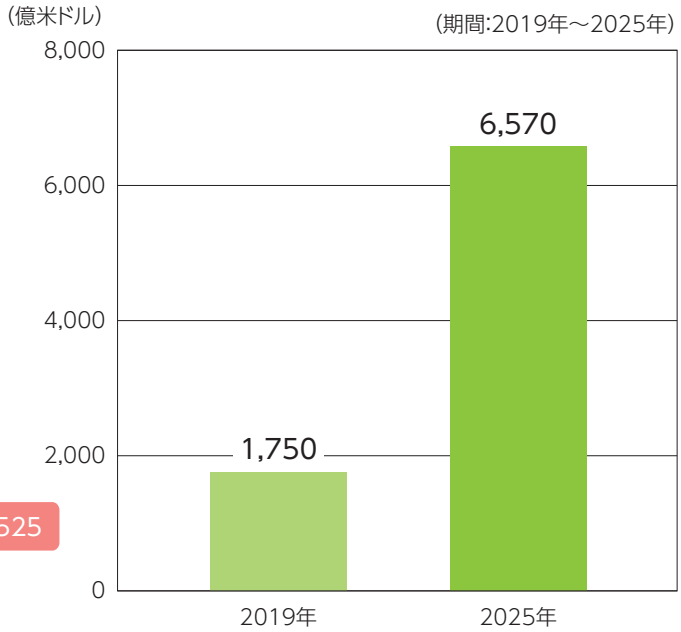


（出所）National Human Genome Research Instituteのデータを基に三菱UFJアセットマネジメント作成

世界のデジタルヘルス市場規模（予測）

テクノロジーとヘルスケアが融合したデジタルヘルス市場は、今後大きく成長すると見込まれています。

（期間:2019年～2025年）



※デジタルヘルス市場には、オンライン診療、医療関連アプリ、遠隔モニタリング機器などが含まれます。

（出所）statistaのデータ（2019年4月時点）を基に三菱UFJアセットマネジメント作成

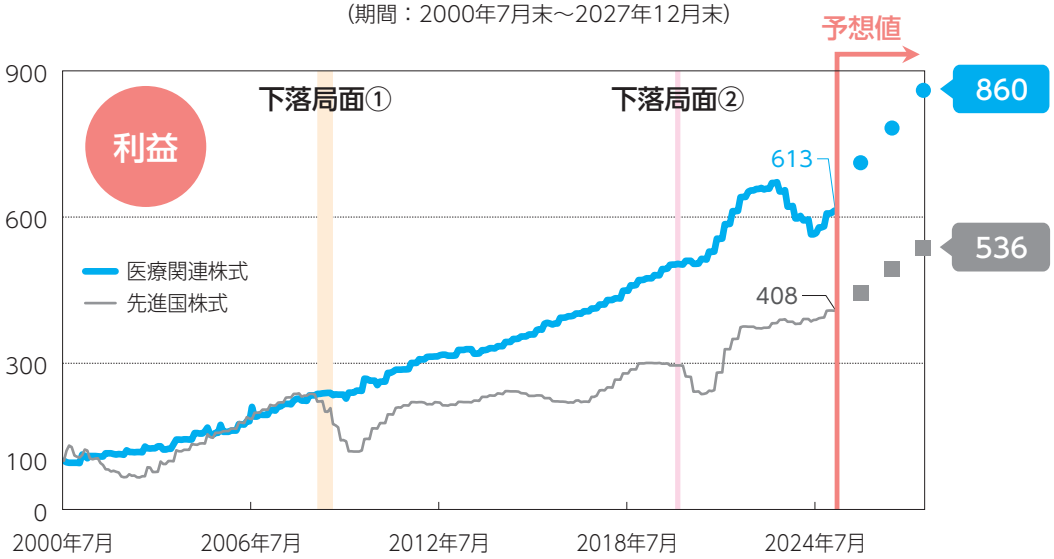
・写真はイメージです。
・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

安定した利益成長

医療関連支出は、人の命や健康に関わるため、景気の影響を受けにくい傾向があります。
また、3つの成長ポイントなどを背景に医療関連企業は比較的安定した利益成長を持続しています。

医療関連企業の一株当たり利益（EPS）の推移

（期間：2000年7月末～2027年12月末）



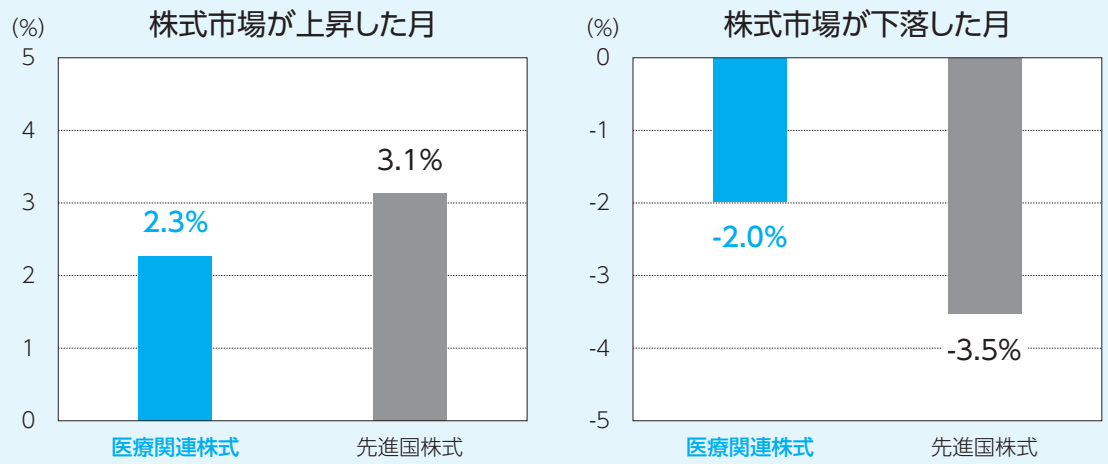
利益
株価

株式市場の下落に対して抵抗力を発揮

▶医療関連株式は、株式市場の上昇局面では追随力をみせ、下落局面では下値抵抗力を発揮
▶リーマンショックやコロナショックなど株式市場の大きな下落局面において、医療関連株式

株式市場が上昇・下落した月におけるパフォーマンス

（期間：2000年7月末～ 2025年2月末）



※上記期間における「先進国株式」の月次騰落率について、上昇した月（株式市場が上昇した月）と下落した月（株式市場が下落した月）に分けて、「先進国株式」と「医療関連株式」それぞれの平均月次騰落率を算出。

※上記は指数を使用しています。指数については【本資料で使用している指数について】をご覧ください。
※各指数のEPS、株価（税引き前配当込み）はともに2000年7月末=100として指数化。
※EPSはデータ取得が可能な米ドルベースの指数を使用。実績値は2025年2月末まで。2025年以降は各年末のBloomberg予想値（2025年3月11日時点）を使用。
※株価は現地通貨ベースの指数を使用。

・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

堅調な株価推移

長期的にみると、医療関連企業の株価は、安定した利益成長を背景に比較的堅調に推移してきました。

成長が
に反映

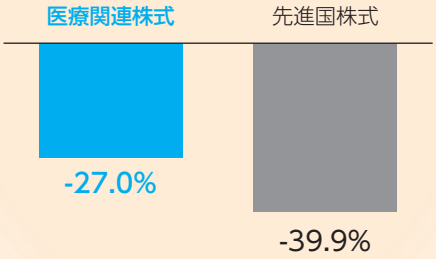
医療関連企業の株価推移

（期間：2000年7月末～2025年2月末）

してきました。
は相対的に優位となりました。

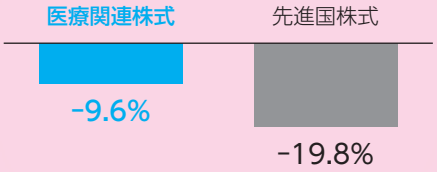
下落局面①
リーマンショック

（期間：2008年8月末～2009年2月末）



下落局面②
コロナショック

（期間：2020年1月末～2020年3月末）



（出所）Bloombergのデータを基に三菱UFJアセットマネジメント作成

銘柄紹介

イーライ・リリー

国・地域　アメリカ
業　　種　医薬品

【銘柄概要】

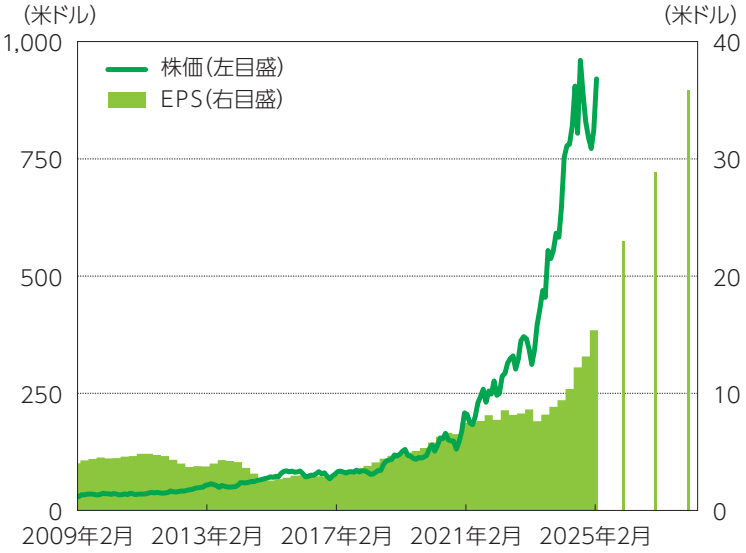
・アメリカの大手医薬品メーカー
・1923年に世界で初めてインスリン製剤の実用化に成功するなど、歴史に裏付けられた高い技術力を有する。

【投資のポイント】

・20％程度の減量効果を発表した糖尿病治療薬「マンジャロ」や肥満症治療薬「ゼップバウンド」の売上が好調であり、底堅い収益源を軸にした良好なファンダメンタルズを誇る。
・同社は、関連薬の製造能力の拡大への取り組みに加え、心臓発作、脳卒中、慢性腎臓病などの様々な疾患の治療薬としての適応拡大に向けた治験や、より利便性が高い経口薬開発をしており、更なる市場規模の拡大が期待される。

【株価と一株当たり利益（EPS）の推移】

（期間：2009年2月末～2027年12月末）



ユナイテッドヘルス・グループ

国・地域　アメリカ
業　　種　ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス

【銘柄概要】

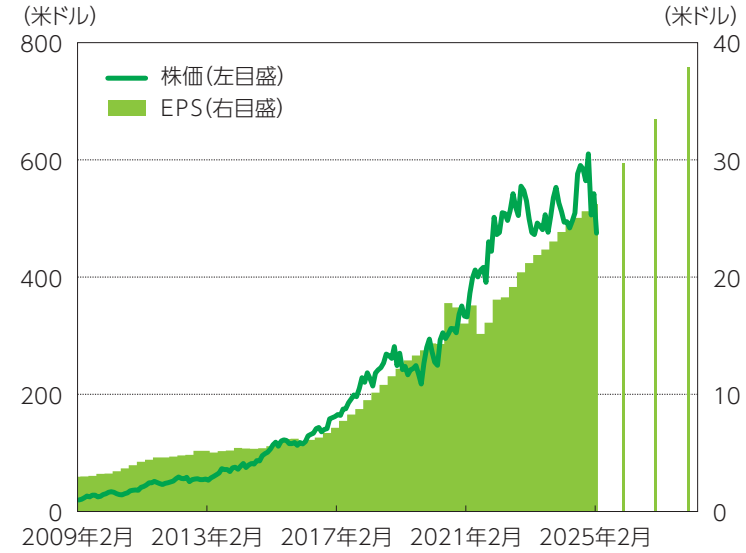
・アメリカの大手医療保険会社
・2000年代半ばから積極的な買収・合併を行い、アメリカの民間医療保険業界内において包括的に強固なビジネス基盤を有する。

【投資のポイント】

・高齢化の進展とそれに伴う保険ニーズ拡大を背景に長期にわたり良好な業績を継続しており、今後のさらなる安定成長に期待。
・同社の特徴としてオプタムと呼ばれる情報技術を活用した医療データ分析などの医療サービスを提供する事業は、膨大な量の顧客情報を生かして高い成長性を有している。関連のテクノロジー投資やシステム導入にも力を入れており、同社のスケールメリットや安定したビジネスモデルを評価している。

【株価と一株当たり利益（EPS）の推移】

（期間：2009年2月末～2027年12月末）



※株価は2025年2月末まで。
※EPSの実績値は2025年2月末まで。2025年以降は各年末のBloomberg予想値（2025年4月7日時点）を使用。

・コメントは作成時点のものであり将来予告なく変更されることがあります。
・上記は、当ファンドの理解を深めていただくため、組入上位銘柄の中から、国・地域や業種を考慮して紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的と
・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金

メルク

国・地域　アメリカ
業　　種　医薬品

【銘柄概要】

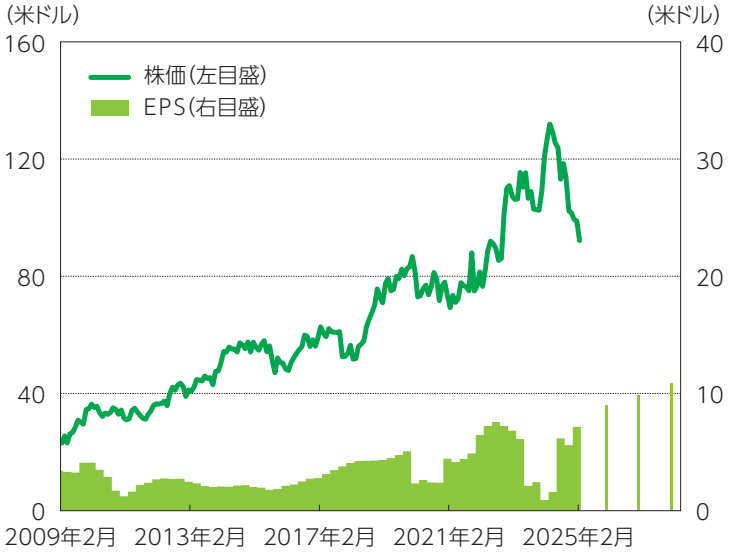
・アメリカの大手医薬品メーカー
・がんや感染症の医薬品やワクチンのほかにも、動物医薬品を手掛けている。

【投資のポイント】

・がん治療薬の分野において、免疫療法薬「キイトルーダ」などが広く知られており、同薬の皮下注射剤の開発も進んでいる。
・その他新薬の開発にも積極的であり、がん治療においては、抗体薬物複合体の開発を第一三共との提携により推進中。また、肥満症治療薬領域にも参入を果たしており、中国の肥満治療経口薬を開発している企業とライセンス契約を締結した。

【株価と一株当たり利益（EPS）の推移】

（期間：2009年2月末～2027年12月末）



ボストン・サイエンティフィック

国・地域　アメリカ
業　　種　ヘルスケア機器・用品

【銘柄概要】

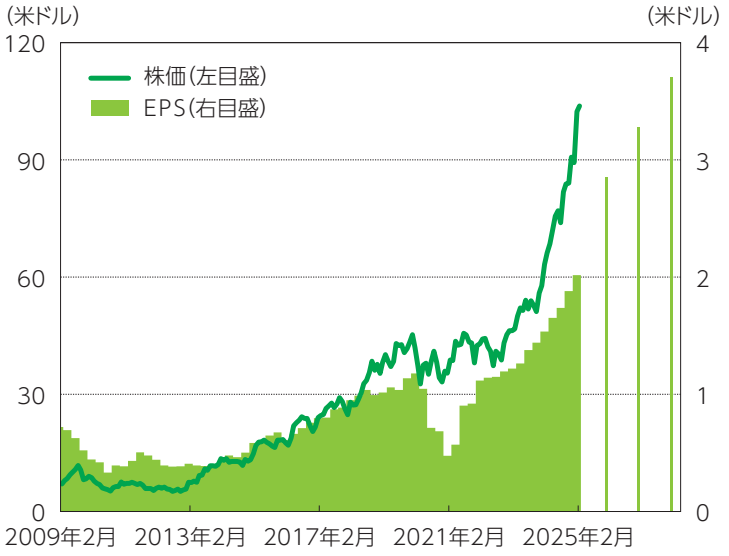
・アメリカの医療機器メーカー
・カテーテル、ステント、ガイドワイヤーなどの循環器系医療用機器の製品群に強みを持つ。

【投資のポイント】

・主力の循環器系の製品に加え、消化器系や呼吸器疾患に用いる手術用器具、慢性疼痛治療用の脊髄電気刺激製品など多様な製品群を有するが、特に今後の市場成長が期待されるインターベンショナル・オンコロジー（カテーテルを介したがん治療法）領域の製品や、末梢血管インターベンション関連の製品の競争優位性などを高く評価している。
・特に2024年年初にFDA（米食品医薬品局）承認を受けた心房細動治療向けのシステム、ファラパルスの今後の売上成長が期待される。

【株価と一株当たり利益（EPS）の推移】

（期間：2009年2月末～2027年12月末）



（出所）ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーの資料、Bloombergのデータを基に三菱UFJアセットマネジメント作成

するものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。
・手数料等を考慮しておりません。

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

信託財産の成長を目指して運用を行います。

ファンドの特色

1 世界主要先進国市場の医療関連企業の株式を主要投資対象とします。

◆世界主要先進国市場の中から、製薬、バイオテクノロジー、医療製品、医療・健康サービス等の医療関連（メディカル関連）企業の株式に分散投資を行います。
◆主な医療関連産業についてはP2をご覧ください。

2 徹底したボトムアップ・アプローチ*を行い、企業の適正価値に対して株価が割安と判断する銘柄に投資します。

◆収益性や財務内容に加え、長期的な視点に基づき、新商品の研究開発力、経営戦略、競争力等に重点を置いたボトムアップ・アプローチ*を行います。
独自に評価する企業の適正価値に対して、株価が割安であると判断する銘柄に投資します。

＊【ボトムアップ・アプローチ】投資対象となる個別企業の調査、分析に裏付けられた投資判断をもとに銘柄選定を行い、その積み上げによりポートフォリオを構築していく方法です。

◆外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。

資金動向や市況動向、残存信託期間等の事情によっては、特色1、特色2のような運用ができない場合があります。

3 ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーに運用指図の権限を委託します。

◆主として医療関連企業の株式に関する運用指図の権限を委託します。
◆ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーは、1928年に創業した米国最古の運用機関の一つです。
◆医療関連セクターでは世界最大規模のファンドの運用アドバイザーを受託しています。

4 年1回の決算時（8月27日（休業日の場合は翌営業日））に分配金額を決定します。

◆分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）

将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

■ファンドのしくみ：ファミリーファンド方式により運用を行います。

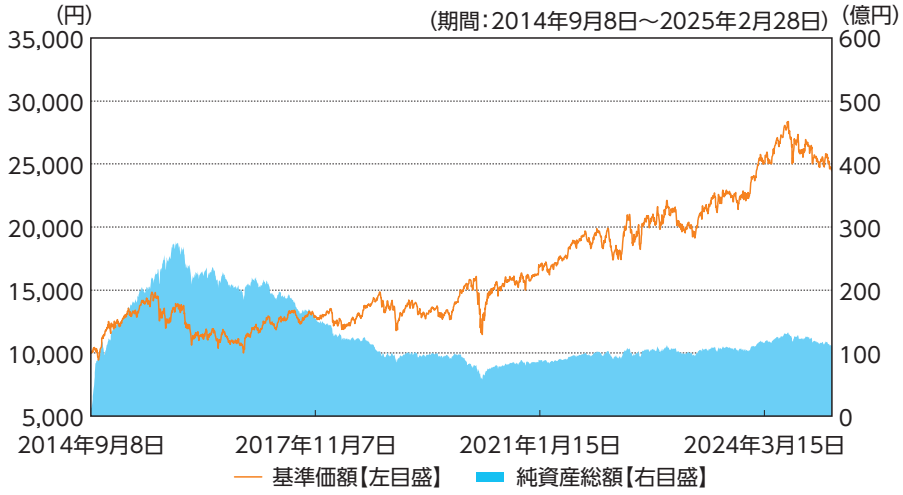
ファミリーファンド方式とは、受益者から投資された資金をまとめた投資信託をベビーファンドとし、その資金の全部または一部をマザーファンドに投資して、マザーファンドにおいて実質的な運用を行う仕組みです。
なお、当ファンドは世界メディカル関連株式オープン マザーファンドを通じて実質的な運用を行います。

運用実績

（最新の運用実績は委託会社のホームページ等にてご確認いただけます。）

2025年2月28日現在

■基準価額および純資産総額の推移



■分配金実績（1万口当たり、税引前）

2024年8月	0円
2023年8月	0円
2022年8月	0円
2021年8月	0円
2020年8月	0円
2019年8月	0円
設定来累計	0円

■資産構成

	比率
株式	96.7%
コールローン他	3.3%

■組入上位5業種

	業種	比率
1	医薬品	39.0%
2	バイオテクノロジー	17.5%
3	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス	16.7%
4	ヘルスケア機器・用品	16.3%
5	ライフサイエンス・ツール/サービス	7.2%

■組入上位10ヵ国・地域

	国・地域	比率
1	アメリカ	75.5%
2	デンマーク	6.0%
3	イギリス	5.2%
4	日本	4.8%
5	オランダ	2.1%
6	ベルギー	1.4%
7	スイス	1.1%
8	イタリア	0.4%
9	－	－
10	－	－

■組入上位10通貨

	通貨	比率
1	米ドル	75.8%
2	英ポンド	6.7%
3	日本円	5.8%
4	デンマーククローネ	5.5%
5	スイスフラン	4.4%
6	ユーロ	1.9%
7	－	－
8	－	－
9	－	－
10	－	－

■組入上位10銘柄

組入銘柄数: 71銘柄

	銘柄	国・地域	業種	比率
1	イーライ・リリー	アメリカ	医薬品	9.6%
2	ユナイテッドヘルス・グループ	アメリカ	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス	7.2%
3	ノボ・ノルディスク	デンマーク	医薬品	5.5%
4	アストラゼネカ	イギリス	医薬品	5.0%
5	メルク	アメリカ	医薬品	4.7%
6	ボストン・サイエンティフィック	アメリカ	ヘルスケア機器・用品	4.5%
7	インテュイティブサージカル	アメリカ	ヘルスケア機器・用品	4.0%
8	ノバルティス	アメリカ	医薬品	3.3%
9	アッヴィ	アメリカ	バイオテクノロジー	2.5%
10	バーテックス・ファーマシューティカルズ	アメリカ	バイオテクノロジー	2.5%

※基準価額は、1万口当たりで運用管理費用（信託報酬）控除後の値です。　※信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。　※運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。　※コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。　※業種は、GICS（世界産業分類基準）の産業分類で分類しています。　※組入上位10通貨の比率は為替予約等を含めた実質的な比率です。　※表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。　※原則として、比率は純資産総額に対する割合です。

・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりません。

ファンド・マネージャーからのごあいさつ

専門性の高い運用チームが有望な銘柄を選定

レベッカ・サイクス

ペンシルベニア大学ウォートン・スクールにて、MBAを取得後、投資銀行のヘルスケアアナリストを経て、2007年にウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー（以下、ウエリントン）に入社。
当ファンド設定時から調査・運用に携わるメンバーで、高い分析能力とリーダーシップを武器に現在は運用チームのチームリーダーを担当。

当ファンドは、医療関連株式を投資対象としており、銘柄選定の際に医学・薬学といった高度な専門知識を必要とします。

運用チームには、医学博士号や薬学博士号を保有している経験豊富な人材が多数揃っており、日々市場動向の把握や有望企業の見極めに努めています。

また、当ファンドを実質的に運用する米国のウエリントンは、1928年に創業し、世界各国に展開する資産運用会社です。

ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーの紹介（2024年12月末現在）

会社組織

- 創業1928年・・・ 長い歴史と伝統を誇る運用会社
- ボストンを本拠に、グローバル展開する運用会社
  - ・運用資産額1兆2,370億米ドル（約194兆円）
  - ・世界60ヵ国以上のお客様に資産運用サービスを提供
  - ・世界19拠点に、2,800名以上の従業員
    （うち運用プロフェッショナルは824名）

経験豊かな医療関連チーム

運用担当者：3名のアナリスト兼任ファンド・マネージャー、10名のアナリスト
平均経験年数：約16年
チーム運用資産残高：約565億米ドル（約8.9兆円）

※2024年12月末現在の為替レート（1米ドル=157.160円）で換算しています。
（出所）ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーのデータを基に三菱UFJアセットマネジメント作成

・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。
また、税金・手数料等を考慮しておりません。

投資リスク

■ 基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの**運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。**したがって、**投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。**
投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

株価変動リスク

株式の価格は、国内および国際的な政治･経済情勢、発行企業の業績、市場の需給関係等の影響を受け変動します。株式の価格が変動すれば当ファンドの基準価額の変動要因となります。

為替変動リスク

当ファンドは、主に米ドル建の有価証券に投資します（ただし、これらに限定されるものではありません）。外貨建資産に投資を行いますので、投資している有価証券の発行通貨が円に対して強く（円安に）なれば当ファンドの基準価額の上昇要因となり、弱く（円高に）なれば当ファンドの基準価額の下落要因となります。

上記のリスクは主なリスクであり、これらに限定されるものではありません。

■ その他の留意点

- 投資信託（ファンド）の分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。なお、分配金の有無や金額は確定したものではありません。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間における当ファンドの収益率を示すものではありません。
- 受益者の個別元本によっては、分配金の一部ないしすべてが、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
- 当ファンドのお取引に関しては、クーリングオフ（金融商品取引法第37条の6の規定）の適用はありません。
- 当ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付けが中止となる可能性、換金代金のお支払が遅延する可能性があります。

■ リスクの管理体制

委託会社では、ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲内で運用を行うとともに運用部から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行い、ファンド管理委員会およびリスク管理委員会においてそれらの状況の報告を行うほか、必要に応じて改善策を検討しています。
また、流動性リスク管理に関する規程を定め、ファンドの組入資産の流動性リスクのモニタリングなどを実施するとともに、緊急時対応策を策定し流動性リスクの評価と管理プロセスの検証などを行います。
リスク管理委員会は、流動性リスク管理の適切な実施の確保や流動性リスク管理態勢について、監督します。
なお、運用委託先で投資リスクに対する管理体制を構築していますが、委託会社においても運用委託先の投資リスクに対する管理体制や管理状況等をモニタリングしています。

【本資料で使用している指数について】
■先進国株式：MSCI ワールド インデックス
■医療関連株式：MSCI ワールド ヘルスケア インデックス
各指数に対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

■GICS(世界産業分類基準)
Global Industry Classification Standard（“GICS”）は、MSCI Inc.とS&P(Standard & Poor's)が開発した業種分類です。GICSに関する知的財産所有権はMSCI Inc.およびS&Pに帰属します。

愛称：**医療革新**

ご購入の際は、投資信託説明書（交付目論見書）でご確認ください。

※三井住友信託銀行でお申込みの場合

お申込みメモ

購入時

購入単位
1万円以上1円単位

購入価額
購入申込受付日の翌営業日の基準価額
※基準価額は1万口当たりで表示されます。

換金時

換金単位
1口以上1口単位または1円以上1円単位

換金価額
換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差引いた価額

換金代金
原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から販売会社においてお支払いします。

申込について

申込不可日
ニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行のいずれかが休業日の場合には、購入・換金はできません。

申込締切時間
原則として、午後3時30分までに販売会社が受付けたものを当日の申込分とします。
なお、販売会社によっては異なる場合があります。

換金制限
当ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。

購入・換金申込受付の中止および取消し
金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取消すことがあります。

その他

信託期間
無期限（2014年9月8日設定）

繰上償還
当ファンドの受益権の総口数が、10億口を下回ることとなった場合等には、信託期間を繰上げて償還となることがあります。

決算日
毎年8月27日（休業日の場合は翌営業日）

収益分配
年1回の決算時に分配金額を決定します。
（分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。）
販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。

課税関係
課税上は、株式投資信託として取扱われます。
個人投資者については、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。
ファンドは、NISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象です。
販売会社により取扱いが異なる場合があります。くわしくは、販売会社にご確認ください。
税法が改正された場合等には、変更となることがあります。

ファンドの費用

◎お客さまが直接的に負担する費用

購入時

購入時手数料

購入金額（購入価額×購入口数）×手数料率で得た額
手数料率は、購入代金（購入金額＋購入時手数料（税込））に応じて以下の率とします。

購入代金	手数料率
1,000万円未満	3.30%（税抜 3.00%）
1,000万円以上1億円未満	2.75%（税抜 2.50%）
1億円以上	2.20%（税抜 2.00%）

換金時

信託財産留保額

換金申込受付日の翌営業日の基準価額に0.3%をかけた額

◎お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

保有期間中

運用管理費用（信託報酬）

日々の純資産総額に応じて以下の率をかけた額

純資産総額	信託報酬率
200億円以下の部分に対して	年率2.200%（税抜 年率2.000%）
200億円超の部分に対して	年率1.870%（税抜 年率1.700%）

その他の費用・手数料

以下の費用・手数料についても当ファンドが負担します。
・監査法人に支払われる当ファンドの監査費用
・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
・その他信託事務の処理にかかる諸費用　等
※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※運用管理費用（信託報酬）および監査費用は、日々計上され、当ファンドの基準価額に反映されます。毎計算期間の最初の6ヵ月終了時、毎決算時または償還時に当ファンドから支払われます。
※ファンドの費用（手数料等）については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。なお、当ファンドが負担する費用（手数料等）の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

委託会社（ファンドの運用の指図等）
三菱UFJアセットマネジメント株式会社
お客さま専用フリーダイヤル　0120-151034
（受付時間／営業日の9:00～17:00）
●ホームページアドレス　https://www.am.mufg.jp/

受託会社（ファンドの財産の保管・管理等）
三井住友信託銀行株式会社

販売会社（購入・換金の取扱い等）
三井住友信託銀行株式会社
上記の三菱UFJアセットマネジメントの照会先でご確認いただけます。

本資料に関してご留意いただきたい事項

●本資料は、三菱UFJアセットマネジメントが作成した販売用資料です。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。　●本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
●本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。　●投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。　●投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

◇MHS-148171-0400-202505◇　　14817110-IS